

幕末明治の写真師列伝 第三百十回 宮下欽 その四十八

「三月廿四日 晴風

一、(前略) ○高木与一郎三郎殿方使来、書状一通・鯉節五本入一袋至来、書状面、過日出府之節之礼、并紙仕上ケクリダシ(繰り出し) 機械相求度、使之者江御談事被下候様申来、右使江松藏殿・宮下氏談話致ス、然ル処過日御送相成候ヲ拝見致シ、全ク機械ニ而仕立候事と存、右殿機械相求度由、使之仁被申候由、右返答全ク此度先生之新規發明ニ而、ソヤ仕立出来致し候事故、右仕立方者書面或者書状等ニ而御伝習申上兼候義有之旨申答候処、左候は、右之段御返事頂戴致候旨、申し決候ニ付、右之段返書相渡ス、但郵便ニ而差出候趣ニ付、付名左之通、
越後」

「三月廿六日 雨

一、午前浅沼屋来、宮下氏談話致し帰、午後先生御帰、(後略)」

「三月廿八日 雨

一、(前略) ○午前片岡如松様方症状至来、コロジヨン(註：コロジオン) 并塩酸金御調合被下候様申し来、則御先生御調合被成左之通、
コロジヨン一瓶一升余、
塩酸金 二管、
右之通返書相添相送、尤代金五円、神田杉枝町八番地斎藤文七殿方請取、右御仁者片岡殿御親類之由、御同人書状御持参、宮下氏面会致ス、亀井松五郎殿石盤(註：版) 稽古して来、昼飯差出ス、夕刻帰、吉五郎帰、午後杉田氏見舞来、松藏殿江水菓一瓶・散菓一袋并お蝶殿丸菓一袋、留吉、杉田氏江罷越貴来、鹿野氏帰来、同人方先生始一同江菓子至来、(後略)」

「三月三十日 晴

一、亀井氏来、同人方ヨヲカン(註：羊羹) 一折至来、午前拾一字頃庫吉帰来、松藏殿不快全快、宮下氏腹痛ニ而寝、(後略)」

「四月一日晴

一、(前略) ○今日写真客五人来、夜ニ入宮下氏浅沼屋江罷越、四ツ裁(註：立) 判人物写目鏡之義相懸合候処、何レニ(註：いずれ) 茂四五日ニて御間ニ合申し候由、返答有之候事、吉五郎泊、」

「四月二日 晴

一、今朝宮下氏江先生方金子之義ニ付御相談有之、(後略)」

「四月三日 晴

一、(前略) ○夕刻お蝶殿御帰、其節お増殿・おとみとの(註：お富殿) 御出、九字御帰、
一、松藏殿被仰置候借入金左之通、
一、金三拾円、但此分宮下方当分、
一、金九円六拾二銭五厘、味噌代
額ブチ之代

右之通宮下氏方御借用相成候由、○宮下氏夜ニ入自用外出、同人江善光寺四ツ裁(註：立) 判写真五枚相渡、同人帰不申、(後略)」

「四月四日 晴

一、宮下氏今朝帰来、○午前九字頃、宮下氏文部省江舞楽写真引延之義ニ付罷越、(後略)」

「四月五日 晴

一、文部省方役人来、宮下氏面会、即刻帰、夫方宮下氏聖堂(註：湯島聖堂のこと) 江舞楽面ヲ写真致しニ罷越、(後略)」

「四月六日 晴昼頃より雨

一、(前略) ○午後四字菊池貞蔵様御出、鉦山寮之模様伺度、且外ニ先生ニ願度義も有之、罷出候旨被仰聞候処、先生御留守之旨申し候処、御同人 今上皇王(註：明治天皇) 之写真御持参、再写致し呉候様被仰聞候ニ付、宮下氏江右之段申し置、同人再写致候処、夕刻ニ而不出来ニ付、猶明日菊池様御出被成由ニ而御同人御帰、御同人江茶・菓子・夕飯差出ス、(後略)」

「四月七日 晴風午後曇

一、宮下氏佐藤病院(註1) 江病者写真して午前十字頃罷越、(中略) ○午後三字過宮下氏帰来、文部省菅氏来、舞楽面写真三枚相渡ス、(後略)」

「四月八日 晴

一、(前略) ○宮下氏、亀井氏方江先生御用向ニ而罷越ス、蜷川様御出、先生御面会、茶・菓子出、夕刻宮下氏浅沼屋江罷越ス、夫方牧野氏江罷越一泊、(後略)」

「四月九日 晴

一、亀井氏来、午前九字頃宮下氏帰来、十一字過庫吉浅沼や江罷越候処、同人留吉殿山形屋江罷越目鏡之義懸合候処、何れニ(註：いずれ) 茂浅屋(註：浅沼屋) 江御引合被下候様致し度、同人方噺之模様ニ寄而者(註：よつては) 御用之旨可申与之義ニ付其儘立戻り、右之段先生申し上、午後三字庫吉、蜷川様江罷越候処、御同人様今日者音羽江御出行ニ付、御留守宅江先生方口上申し伸帰、口上左之通、
舞楽写真取懸候者元商人与組合ニ而し候処、右商人目鏡ヲ他江売渡候ニ付、彼是(註：かれこれ) 懸合候得共、元方自分所持之品与申義ニ茂話合不致、無余義明日宮内省江罷出写し候義難相成、御断罷出候間、宜敷被仰上被下度旨申置帰、(後略)」

「四月十日 晴

一、宮下氏より不快之由ニ而、鹿野氏同道山歩(註：散歩) して上野江罷越、(後略)」

「四月十一日 雨

一、(前略) ○横関新八殿来、先生御対話、其後宮下氏対話致ス、(後略)」

註1：この佐藤病院とは湯島聖堂のすぐ傍にあった順天堂醫院のこと。初代・佐藤泰然の後継者、二代目・佐藤尚中が明治2年(1869)、大学東校(東大医学部前身)の大博士・初代校となり、その職を辞した後、明治6年(1873)、東京湯島の台地に私立の順天堂醫院を開いた。

(※「方」は平仮名の「よ」と「り」の合字)

(森重和雄)